

団地高齢者を対象とした コミュニティ活性化プログラムの実施

桜美林大学 澤井ゼミ

石川沙樹 坂本祐太 澁澤岬 島田南菜子

杉本一樹 高橋里菜 照井真美

馬場萌 三木まどか 宗形直緒人



① 諸言

② 方法

③ 結果

④ 政策提言

1-1 人口の高齢化

日本の総人口に占める65歳以上の高齢化率

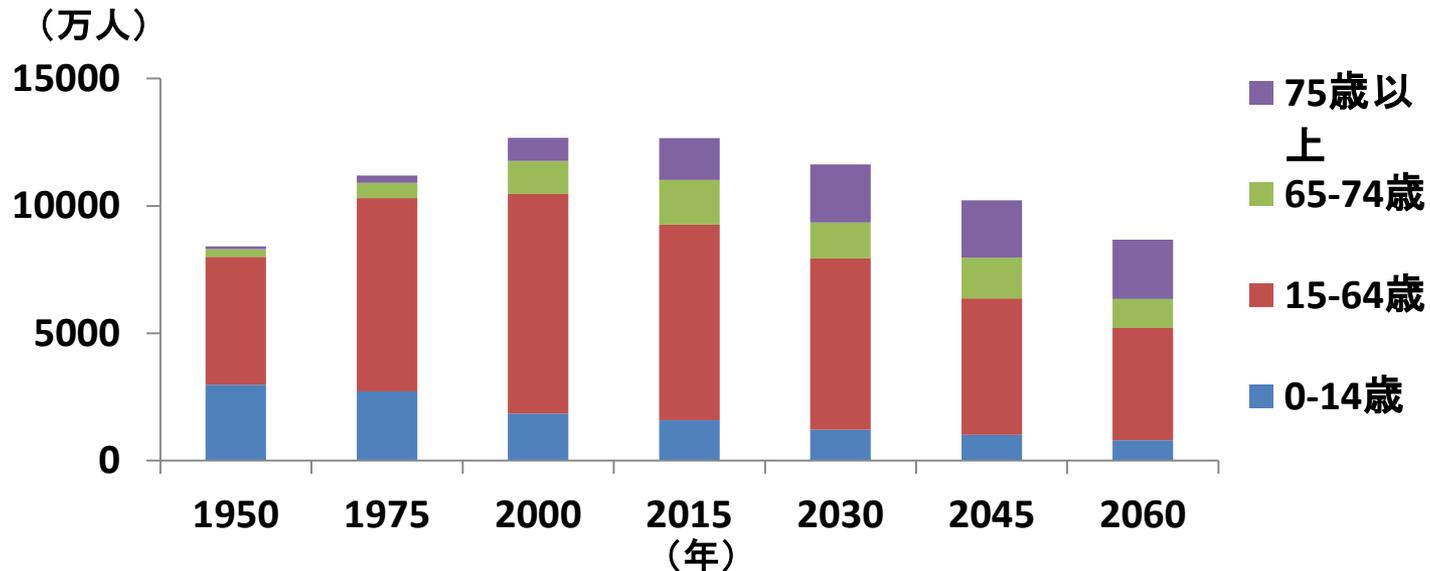
2015年

26.0%



2060年

39.9%



出典:「介護保険情報(2015年9月分)/町田市ホームページ」より

1-1 人口の高齢化

日本全体の高齢化率

26.0%

町田市の高齢化率

25.1%



1-2 団地の高齢化率とその背景

とくに近年、団地住民の高齢化が問題になっている。

【山崎団地】40%

【木曾団地】34%



団地住民
の高齢化

(・日本全体:26.1% ・町田市:25.1%)

1-3 高齢者の孤独死

一人暮らし高齢者の増加は男女ともに顕著！

一人暮らし高齢者が高齢者人口に占める割合

昭和55年(1980)

男性4.3%

女性11.2%

平成22年(2010)

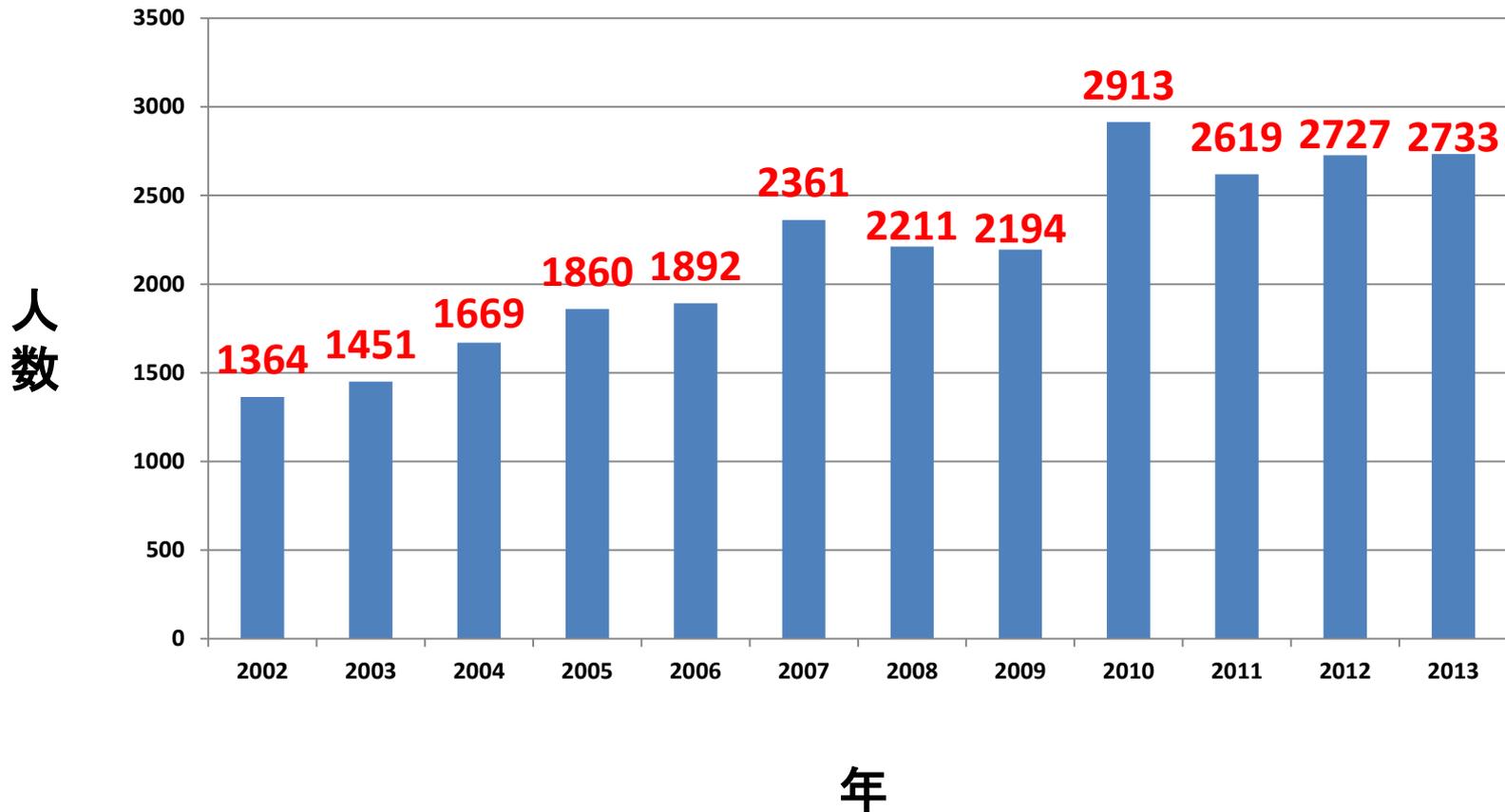
男性11.1%

女性20.3%

約**2**倍！

1-3 高齢者の孤独死

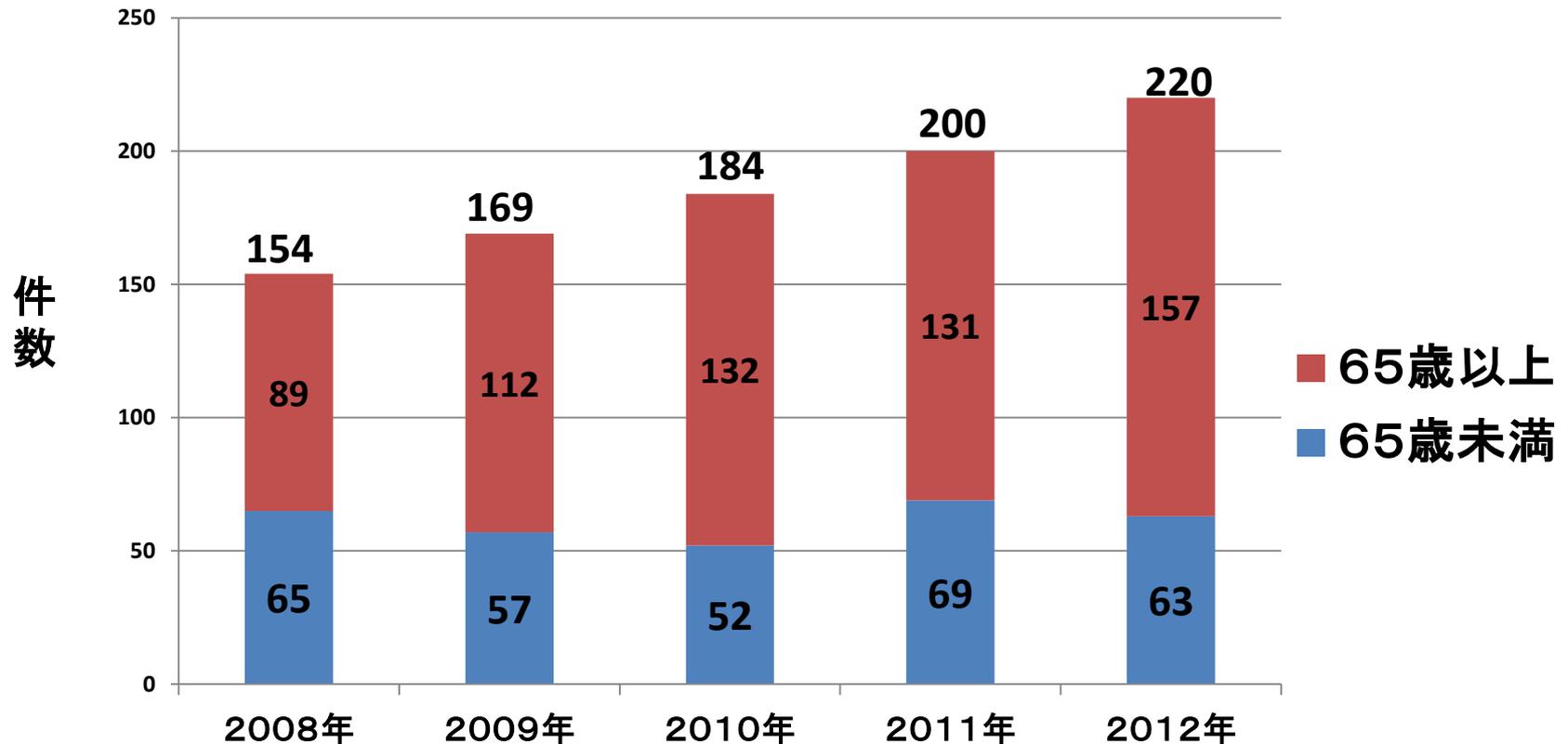
東京23区内で自宅で死亡した65歳以上の一人暮らしの方



出典：内閣府「平成27年度版高齢社会白書」より

1-3 高齢者の孤独死

単身居住者で死亡から相当期間経過後に発見された件数



孤独死は年々増加傾向にある！

出典：内閣府「平成27年度版高齢者白書」より

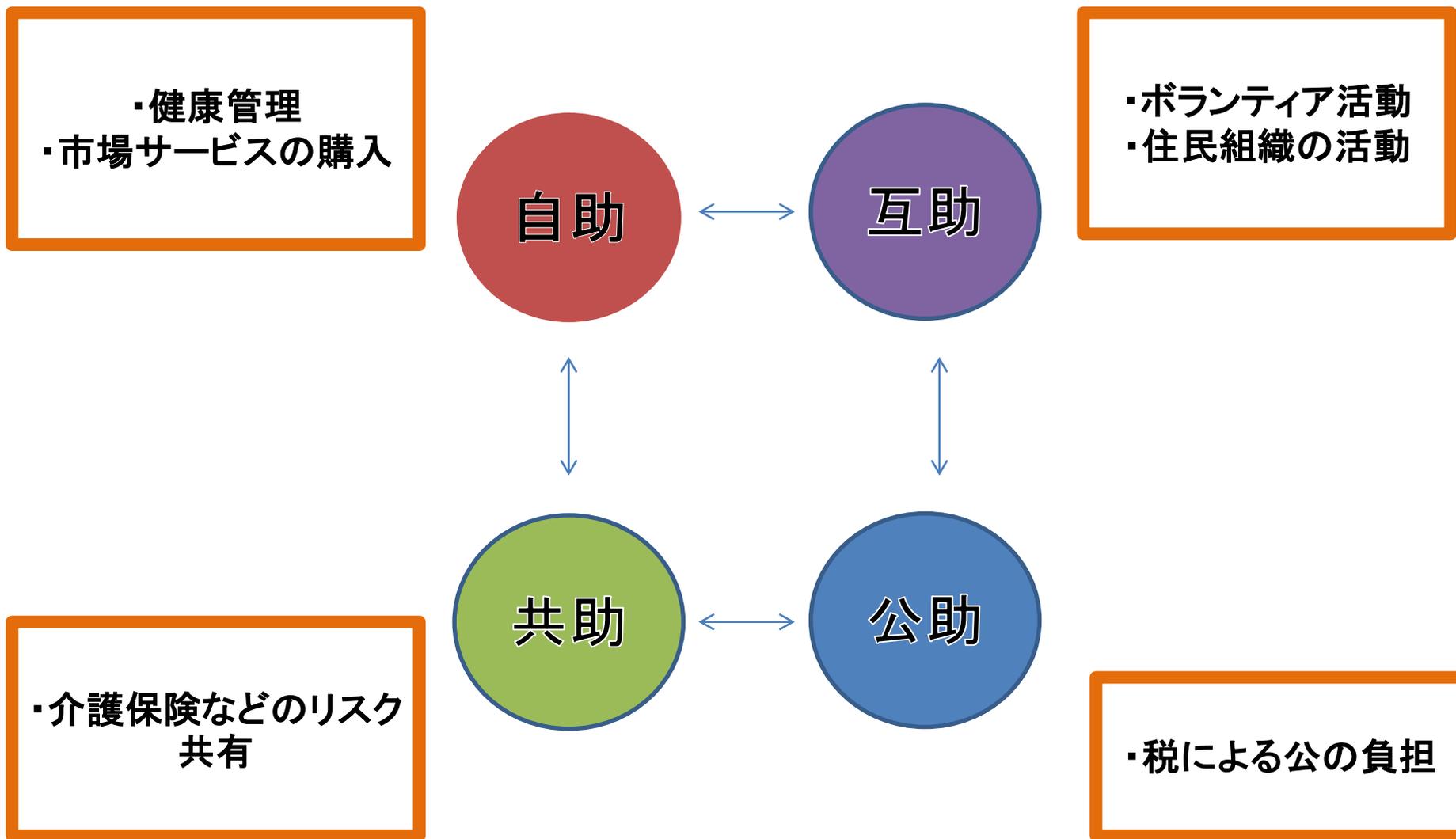
1-3 高齢者の孤独死

さらに...

一人暮らしの
高齢者

- ・人との交流が少ない
 - ・頼れる人がいない
 - ・会話の頻度が2~3日に1回以下
- の者が男性の一人暮らし高齢者だと28.8%にのぼるという

地域包括ケアシステム



リサーチクエスチョン

・団地の高齢化問題

我が国の高齢化問題を先取りしている団地の高齢化対策、特に高齢者の孤立の問題を解決するための、スポーツを活用した政策を考える。

① 諸言

② 方法

③ 結果

④ 政策提言

インタビュー調査

方法

...町田市の高齢化問題にかかわる組織にインタビュー

	実施日	実施場所	部署・役職	ご担当者
1	2015/06/03 (水)	桜美林大学	町田ゼルビア後援会 事務局員	野本倫央氏 石黒修一氏
2	2015/07/22 (水)	桜美林大学	町田ゼルビア後援会 事務局長	鈴木創氏
3	2015/09/02 (水)	桜美林大学	地域社会連携室	福原信広氏
4	2015/10/07 (水)	桜美林大学	桜美林大学落語研究会	斎藤怜央さん 小林千華さん
5	2015/10/20 (火)	町田市役所	町田市スポーツ振興課	須崎努氏 武藤正道氏
6	2015/10/29 (木)	メール	UR都市再生機構	山崎団地担当者

① 諸言

② 方法

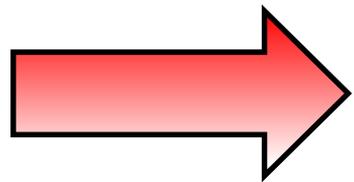
③ 結果

④ 政策提言

町田市の団地の課題

- ・人口の減少
- ・高齢化率の上昇
- ・コミュニティ活動の低下

などが課題としてあげられている。



コミュニティ活性化が必要不可欠！

町田市の高齢化対策

- スポーツ推進委員による運動機会創出交流事業
- 高齢者スポーツ普及事業(スポーツ振興課)
- ロコモティブシンドローム対策事業 等々(高齢者福祉課)

課題

- 参加者は女性・リピーターが多い
- 引きこもりがちな高齢者、男性の参加者をどう増やすか
- 「スポーツ」という名前では参加のハードルが高いと感じる高齢者が多い
- 町田市の中心地で行う事が多いので、遠くに住む高齢者にとっては、参加が困難である

桜美林大学の取り組み



落語研究会

- ・桜美林大学は町田市と団地を管理するUR都市機構と連携して、落語研究会による団地での講演会を開催しています。
- ・毎回約30～40人ほど集まるなど好評で、男女比は半々。
- ・町田市の高齢者を対象とした運動・スポーツ企画に比べれば男性参加者が多いのが特徴である。
- ・落語だけでなく若者との交流を楽しみにしている高齢者も少なくないという。

UR都市機構の取り組み



町田山崎団地にて、平成27年2月28日(土)～3月1日(日)の2日間にわたって、防災計画の一環として「DANCHI Caravan」が開催された。良品計画,コールマンと提携した企画の開催。桜美林大学の山口ゼミの学生もボランティアで参加した。

FC町田ゼルビアの取り組み

- FC町田ゼルビアの後援会では、地域貢献の一環として、山崎団地センター⇔町田陸上競技場で無料バスを運行した。
- しかし、コスト的な問題により継続が困難



FC町田ゼルビア後援会バス 山崎団地センター⇔町田陸上競技場 無料

第19節 (HOME)
Jリーグ・アンダー22選抜戦

2014.7.27 (Sun)

町田市立陸上競技場
17:00~ Kick Off (予定)

さあ、みんなで応援しよう

後援会バスイメージイラスト by Nobu

※画像は町田バスセンターから山崎団地センターまで運行しているツインライナーです。後援会バスは一般車間で運行します。

The image shows a promotional poster for a free bus service. On the left, there is a blue and white graphic with the FC町田ゼルビア mascot and a smaller bus. On the right, a red Twin Liner bus is shown with its destination sign reading '神奈川中央交通 Kanagachu'. The bus has 'Twin Liner' and '10-01' on its front. The background is a blue sky with a stadium.

① 諸言

② 方法

③ 結果

④ 政策提言

政策提言

団地における高齢者を含むコミュニティの活性化を図るためのイベントの実施とそのための仕組み作りを提言する。

団地再生パブリックビューイング



団地において団地住民を対象としたパブリックビューイング企画を開催。

基本的にはスポーツの観戦。しかし、さまざまなコンテンツを織り交ぜる事で、さらなる集客、特に高齢者の集客を図る

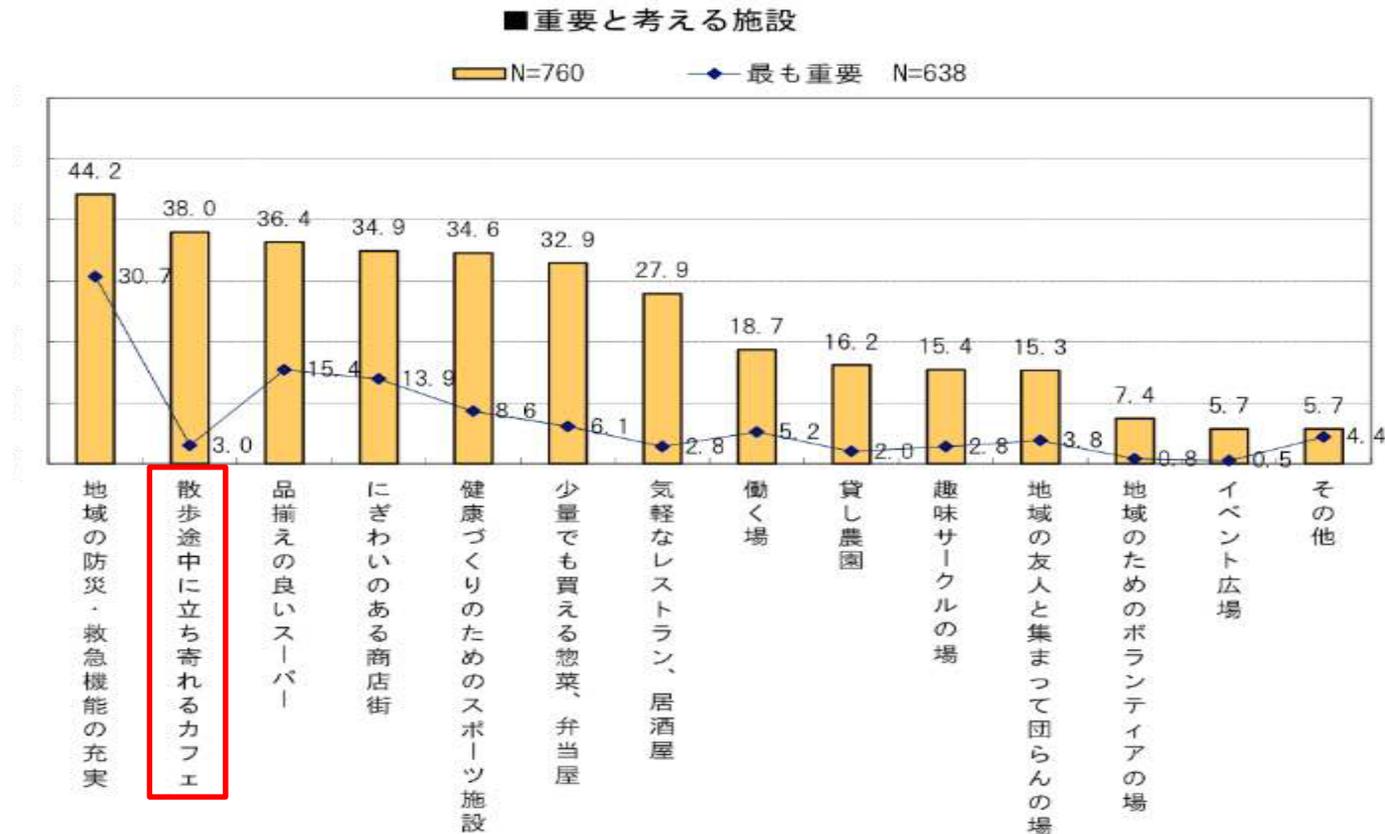
- サッカー
- 野球
- ラグビー
- 相撲

- 落語
- 映画
- etc...

なぜパブリックビューイングか？

- 「する」スポーツではなく、「見る」スポーツにする事により、参加のハードルが下がり誰でも参加しやすい。
- テレビでのスポーツ観戦はとくに男性はふだんから行っており、参加への抵抗が少ない。
- スポーツ観戦は高齢者に限らず多くの関心を呼び、また平等に参加できるため多世代の交流が期待できる。
- 団地の施設でも行える為、距離的な問題が解消される。
- パブリックビューイングの集客を利用し、さらなる活動の幅を広げる事が可能となる。
- 東京オリンピック,パラリンピックの開催

団地の住民が求める施設



「町田市団地再生基本方針2013」より

実施可能性について

- ①実施場所の確保
- ②人材の確保
- ③資金の確保

①実施場所の確保

(町田市の団地の一例)



- ・コミュニティガーデン
- ・市民農園
- ・バーベキュー
- ・フリーマーケット



集会所を活用したコミュニティ活動。



共同花壇でのコミュニティ活動。

出典:「町田市再生基本方針2013」より

②人材の確保

桜美林大学には学生のボランティア活動を推進するカリキュラムで、学生の授業内でのボランティアを義務づけています。サービスラーニングセンターという機関があり、ボランティアに学生が参加をすることで単位を取得することができるというシステムがある。その制度を利用することでより多くの学生の参加が期待できる。

ボランティア
活動



単位認定

③資金の確保

・町田市役所(インタビューから)

「開催するイベントや活動によっては、町田市の予算や文部科学省の補助金が出る可能性がある」

「大学は市との地域連携団体の1つであるため、町田市と大学の双方にメリットがあり、継続性のある企画であれば予算が付く可能性が高い」

・私たちの提言内容の活動に予算が付く可能性は、十分にありとの回答を得た。

・UR都市機構などとの連携

研究の課題と限界および展望

コミュニティを活性化することにより...

パブリック
ビューイン
グ

- 集客効果
- 高齢者の孤立の緩和

- コミュニティの活性化
- 多世代交流

- 地域包括ケアシステム
- 健康運動プログラムへの参加促進

参考文献

- ・町田市 介護保険情報(2015年9月分)
- ・町田市団地再生基本方針2013
- ・内閣府「平成24年度版高齢社会白書」
- ・厚生労働省HP
- ・内閣府「平成24年度版高齢社会白書」
- ・内閣府「平成25年度版高齢社会白書」
- ・内閣府「平成26年度版高齢社会白書」
- ・内閣府「平成27年度版高齢社会白書」

ご清聴ありがとうございました

